



葉は単葉で長楕円形、先がとがり、有柄。

### 食 モロヘイヤ シナノキ科

草丈 2メートルに達し、葉は単葉で互生し、長楕円形で先端がとがる。  
 葉のつけ根部分左右に 1本ずつ角状突起がある。  
 エジプトなど中近東地域で食される。  
 日本でも 1980年代から食べられるようになった。  
 種に毒があるので要注意。



アメリカチョウセンアサガオ



ヨウシュチョウセンアサガオ

### 毒 チョウセンアサガオ ナス科

草丈 1.5 mに達し、葉は波状歯縁で卵型、夏に葉のつけ根に花をつけ、花の形状は漏斗状で、色は淡紫色から白色である。  
 果実は楕円形で長いトゲが密生し、熟すると中に黒色柱状の種子をたくさんもつ。また、全体に特有の臭気をもつ。  
 この植物を触った手で目をこすると瞳孔が散大し、まぶしくて物が見えなくなる。

**有毒部位：**全草、特に種や根  
**有毒成分：**アトロピン、スコポラミン、ヒヨスチアミン  
**中毒症状：**血圧・脈拍の上昇、瞳孔散大、  
 興奮状態→麻痺状態

※平成 12年に札幌市内でチョウセンアサガオ（毒）とモロヘイヤの誤食による食中毒事故が発生した。